

biz BlueSweeper

唯一のコニカミノルタ製複合機向けFAXソリューション
今後はWatsonやboxとの連携を計画新日本コンピュータマネジメント株式会社 ▶ <https://www.scm-net.co.jp/>

新 日本コンピュータマネジメント（以下、SCM）は、業務中のPC・サーバーからコニカミノルタの複合機を経由してFAXを自動送信できる複合機FAXソリューション「biz BlueSweeper」の開発・販売を開始した。コニカミノルタ製複合機を利用する自動FAXソリューションとしては唯一の製品となる。

印刷・コピー・FAX・スキャナなどの機能をもつ複合機は、どの企業／組織にも設置されている。しかしメールが一般化した現在、その利用は印刷・コピーが圧倒的に多く、FAX送信やスキャニングは減りつつある。とはいえ、顧客や取引先がFAXを使っているケースは依然として多く、少なくない量の文書がFAXでやり取りされている。

その際、課題として挙げられるのは、手動による送信の非効率性や、誤送信・2重送信の問題、さらに送信未達に伴う煩雑な対応・処理、送信後の文書管理・検索の手間などである。また、複合機と

は別にFAXサーバーやFAXボード／モデムを使用している場合は、周辺機器類の継承問題やその運用・保守・コストも課題となる。

biz BlueSweeperは、PCからメールを送信する感覚でFAX送信を可能にするツールである。最大のポイントは、複合機を活用する点。複合機に標準搭載されている回線機能を有効活用できるのに加えて（FAX専用機やFAX専用回線、FAXモデムなどが不要になるのでコスト削減にもなる）、送信オペレーションの自動化による作業効率の向上や手動ミスの軽減、ペーパーレスによるコスト削減、ステータス管理機能やリトライ・履歴管理機能による未達対策、さらには基幹系業務システムからのダイレクトなFAX送信も可能になる（図表）。

また、送信データはPDFやXPS形式に対応し電子保存もできるので、外部ストレージへの保管や電子帳票ツールとの組み合わせによる文書管理も可能だ。さ

らに、コニカミノルタのタスク自動化ツール「Dispatcher Phoenix」と組み合わせると、FAX受信データを自動で取り込み、管理・編集・加工をPC上で行い、biz BlueSweeperと連携させてFAX自動受送信までをペーパーレスで自席で行うこともできる。最近のオフィス業務の実情にフィットしたFAXソリューションである。

SCMでは、biz BlueSweeperの今後の拡張として、複合機でスキャンした手書き帳票・伝票類のデータを、IBM Watsonと連携させて自動で補正・精度向上させる機能や、基幹系業務データおよびFAX送信データを外部ストレージサービス「box」へ自動転送・自動保存し、boxから電子配信やコニカミノルタ製複合機からbox内のデータを取得しFAX送信する機能の追加を計画している。FAX機能からデータ連携・EAIのような使い方も視野に入れて製品開発・拡張のロードマップを考えているという。📌

図表 biz BlueSweeperの概要

